

2009.9.15 (火)



森川病院教授のネット講座

33

「動画を使ったコンテンツ配信が脚光を浴びる」。私がこう宣言したのは今年の初めでした。最近のインターネット界の動きを見ると「まさにその通りになってきているでしょう」と、胸を張りたい気分です。

「歴史が動いた」といわれる先の衆院選で、大勝した民主党をはじめ各



徳島大学病院ホームページの動画番組「TV いきいきらいふ」のコーナー

動画コンテンツ サーバー無料化 普及に拍車

価がすぐに反映できるかどうかという点で、視聴率やアンケートという観点からすれば、ネットなら即座に集計ができます。

最大の相違点は、ネットが利用できるすべてのインフラで簡単に見る、とができることだと思えます。さらに、放映時間の決まっているテレビと違い、ユーザーがいつでもどこでも、手軽に見ることができるとも普及しています。

特に一人が一台以上持っているといわれる携帯端末への効果は絶大です。最近では「Wi-Fi」「DSi」「PSP」といった人気ゲーム機端末でも閲覧できるようになりました。

ただ、動画コンテンツの制作には、文字だけのテキストに比べて時間と労力と経費がかかり、普及の最大のネックとなっていました。それが解消できたのは、動画サーバーが無料化されてきたこと

とに尽きるといってもいいでしょう。米グーグルが買収した「YouTube(ユーチューブ)」をはじめ多くのサイトで、ユーザーは無料で動画データをアップできるようになりました。動画撮影するビデオ機材もハイビジョン化されるなど高品質化する一方で、値段は安くなってきていることも普及に拍車をかけています。

私の勤務する大学病院でも、医療情報を提供する動画番組「TV いきいきらいふ」を制作してケーブルテレビで徳島で放映し、その後ホームページにアップしています。制作は自分でやっていますが、慣れればそう難しいことではありません。

経営者の皆さん、今こそ企業価値を上げる動画コンテンツの配信に、挑戦してみたいかがではないでしょうか。(徳島大学病院・病院情報センター部長 森川富昭病院教授)